

下水道事業の経営戦略の説明が不十分

説明機会の要請があれば対応する

議員 当市の観光の窓口

が、商工観光課・観光物産協会・株式会社かまいしDMCの3つに分かれています。この窓口を一本化してはどうか。

市長 各主体にそれぞれ

強み弱みがある。それぞれの観光振興施策における役割を今一度明確にする必要があると考えている。そうした視点を持ちながら、より効果的な観光振興につなげていきたい。

議員 当市でも宿泊税の

導入や商工観光課の観光の業務を、全国から高い評価を得ている株式会社かまい

しDMCに業務移管を検討してはどうか。

商工観光課長 全国各地で

持続可能な観光地域づくりが進められている。宿泊税については財源確保の一つとして考えられる。また、

地域の特性に応じた行政と

民間の業務の持ち方等、様々な推進体制があるのは認識している。来年度に更新作業予定の次期観光振興ビジョンの検討において、今後の方向性について議論できればと考えている。

議員 下水道事業の経営

戦略が十分な議論がされないまま公開されている。市

民や議員への詳しい説明が求められると考えるが、市としてどのように考えているか。

下水道課長 経営戦略の公

開については、ホームページで公開しただけで周知の目的を果たしたとは考えてはいない。様々な対面での機会を活用する他、ホームページ等への掲載等、両面で進めたい。また、議会への説明に対する重要性について国も強調している。経営戦略は市の策定する個別計画に位置付けられているが、説明機会の要請があれば対応していく。

議員 小佐野地区にある

古い下水道・側溝について、水が流れる部分については市の管理、上の蓋は住民の管理となっている。空き家等も増え、蓋の管理もされない場所もあることから、安全面等考慮し市の管理に統一できないのか。

下水道課長 水路自体の構

造上の問題や老朽化については市として修繕を行っている。地域からの要望にもあるが、問題のある個所については現地を確認の上、町内会や生活応援センターと調整しながら安全対策に努める。



株式会社かまいしDMCが管理運営する「NEMARU PORT」



井筒健太郎

(創政会)



井筒議員の動画はこちら

質問項目

- ・フロントプロジェクト3における観光施策について
- ・釜石公共下水道事業について
- ・教育行政について